



岩松小学校だより



学校だより 第3号

令和8年4月17日発行

発行者 校長 真子靖弘

第80回入学式—19名の輝く一步を地域と共に—

春の訪れを告げる優しい小雨の中、4/10(金)に**第80回入学式**を挙行いたしました。今年度は**19名**の新生を迎え、岩松小学校に新しい活気が加わりました。



式典では、教科書とともに交通安全協会様からの記念品「黄色い帽子」を新生代表へ手渡しました。地域の皆様の「安全に登校してほしい」という願いを胸に、子どもたちは期待に満ちた一步を踏み出しました。また、在校生代表の6年生、**N.S.**さんが述べた歓迎の言葉には深く感心させられました。「**友だちと仲良くする**」「**周りを大切にする**」「**感謝の気持ちを持つ**」といった**学びの本質**を、自分の言葉で堂々と伝える姿は最高学年としての頼もしさに満ちていました。

私からは、学校生活の指針として「**3つの名人**(考え名人・おもむかせる名人・挑戦名人)」の話をしました。併せて保護者の皆様には、家庭と学校が同じ方向を見据え、手を携えて共に育む「**共育**」への連携をお願いいたしました。

さらに、校長プロジェクト第一弾「**入学歓迎のぼり旗**」も完成しました。**有志の3・6年生**が心を込めて制作した旗は式場を彩り、現在は児童玄関で登校を迎えています。**年度初めから子どもたちの「主体的・創造的な姿」**が見られたことを大変嬉しく思います。期待に胸が膨らむ、最高のスタートとなりました。

「学校の当たり前」を問い直す—ノーチャイムへの挑戦—

「学校の当たり前は、世の中の当たり前ではない」という言葉があります。もしそこに乖離があるのなら、私たちは変えていかなければなりません。

今年度、**主体的な学習者**の育成を掲げる本校では、**新たな挑戦**として「**ノーチャイム**」を導入しました。驚いたことに、子どもたちは自ら時計を見て、主体的に行動しています。その適応力の高さには、感心するばかりです。今後も改革(挑戦)を進めていきます。



環境が人をつくる—子どもの意欲を引き出す環境づくり—

新年度が始まり、校内に活気ある声が響いています。今、特に私の心を明るくしてくれているのが、**朝の挨拶運動**です。最高学年となった**6年生**を中心に、その姿に感化された**他学年**の子どもたちも自発的に加わり、元気な挨拶の輪が広がっています。進級を機に「頑張るぞ!」と前向きに一步を踏み出した、子どもたちの瑞々しい決意が伝わってきて、本当にうれしく感じています。



こうした子どもたちの変化を目の当たりにし、「**環境が人をつくる**」という言葉を変えて再認識しています。子どもたちが自ら動き出し、成長しようとするエネルギーを、私たち教職員がいかに支え、引き出していけるか。**私たちの使命は、子どもたちがのびのびと個性を発揮し、失敗を恐れず安心して挑戦できる、そんな「学びの土壌」を整えることにあります。**

一人ひとりが主役となり、創造的に学べる環境づくりに、今年度も全力を尽くしてまいります。

6年生の決意に感動—始業式後の「聞き取りテスト」より—

4/7(火)の**始業式**後、子どもたちに私の話の感想や抱負を綴ってもらいました。集まった言葉を読み進めるうち、特に6年生の決意には思わず胸が熱くなりました。

「岩松小を自分たちが盛り上げる」

「責任を持って行動し、みんなの手本として学校を愉しくしたい」

「去年の6年生を越えられるよう」

『4つの言葉(自律・尊重・挑戦・主体性)』を大切にしたい」



そこには、**最高学年として学校を支えようとする力強い自覚と気概が溢れていました。**自分たちでより良い学校を創ろうとする真っ直ぐな意欲に触れ、頼もしさと共に大きな喜びが込み上げます。

子どもたちの心に灯ったこの前向きな火を大切に育み、共に笑顔あふれる楽しい岩松小学校を創っていきたくと決意を新たにしました。